

■実施場所内定者

講評内容		得点
A事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画、本人支援ともに具体性が高く、目標設定が具体的で子どものニーズをとらえている。</li> <li>・職員配置や人材育成、管理体制が十分に整備されている。</li> <li>・地域ニーズを把握している。</li> </ul>	103.8
B事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画、本人支援ともに具体性と専門性が高く、質の高い療育の実施が期待できる。</li> <li>・管理者・児発管の経験や体制が充実しており、安定した運営基盤が認められる。</li> <li>・地域ニーズへの対応や送迎を含め、地域支援が充実している。</li> </ul>	103
C事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念や障がい児保育の長年の経験があり、個別支援計画や支援内容が具体的である。</li> <li>・地域資源や関係機関との連携を踏まえた支援体制が整備されている。</li> <li>・人材育成や運営体制も含め、安定した事業運営が期待できる。</li> </ul>	98.4
D事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人としての実績や理念が明確であり、提案内容全体に一貫性が見られる。</li> <li>・個別支援計画や本人支援において、専門的視点を取り入れた具体的な支援内容が評価できる。</li> <li>・個別支援と集団支援の適切な組み合わせや、運営計画の実効性のさらなる明確化が、望まれる。</li> </ul>	95.4

■実施場所未定者(84点以上)

講評内容	
E事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画および本人支援の内容が具体的で、実践的な療育の展開が期待できる。</li> <li>・管理者等の資質や人材育成に対する考え方が明確であり、人員計画も先を見据えている。</li> <li>・送迎はあるものの、地域ニーズの把握について、さらなる工夫が望まれる。</li> </ul>
F事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携やこれまでの実績を活かした一体的な支援体制が評価できる。</li> <li>・個別支援計画や人員配置が具体的で、安定した運営と質の高い療育の実施が期待できる。</li> <li>・周囲に事業所がなく、広範囲の送迎が想定されている。</li> </ul>
G事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画や研修体制など、具体的な支援・育成の取組が評価できる。</li> <li>・専門職の配置や連携を含めた体制整備が進められている。</li> <li>・送迎や食事、祝日営業などニーズを把握している。</li> </ul>
H事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人理念や地域ニーズの把握に基づいた運営姿勢が認められる。</li> <li>・人員配置や運営体制は一定程度整備されている。</li> <li>・個別支援計画や人材育成において、より具体的な取組の展開が期待される。</li> </ul>
I事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人としての理念があり、経験を生かした保護者視点を重視した支援姿勢が認められる。</li> <li>・個別支援計画や人材育成において、具体的なプログラムや研修体制が整備されている。</li> <li>・児発管候補の発言が見られなかった。支援内容の実施方法や療育の考え方について、一層の明確化が期待される。</li> </ul>
J事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体系的な研修体制や実績に基づいた運営が認められる。</li> <li>・保育と療育の連携を意識した支援体制が評価できる。</li> <li>・既存の事業所がある地区での提案であった。</li> </ul>
K事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域理解に基づいた運営や家族支援への配慮が見られる。</li> <li>・関係機関との連携を意識した支援体制がうかがえる。</li> <li>・支援内容や人材育成について、より体系的かつ具体的な整理が望まれる。</li> </ul>
L事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援評価体制がある。</li> <li>・人員の専門性の明確化と運営体制の整理により、さらなる充実が望まれる。</li> <li>・既存の事業所がない地区での提案であった。</li> </ul>
M事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国で実績があり、人員配置や専門職の確保など、運営体制は充実が見られる。</li> <li>・支援内容の具体化や専門性のさらなる明確化により、一層の質の向上が期待される。</li> </ul>
N事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者・児発管の役割や資質について一定の評価ができる。</li> <li>・実施場所未定であり、ニーズ把握や支援計画の具体性について、更なる明確化が期待される。</li> </ul>
O事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理的専門性を踏まえたアセスメントや家族支援の取組が見られ、多職種連携による支援が期待できる。</li> <li>・個別支援計画の目標設定や人員体制について、さらなる具体化と専門性の整理が望まれる。</li> </ul>

■不合格者(84点未満)

講評内容	
P事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者視点を重視した理念が明確であり、子どもや家族に寄り添った支援姿勢が評価できる。</li> <li>・個別支援計画は子どもの状況に応じた内容となっており、家庭での取組まで意識された支援が期待できる。</li> <li>・人員配置や地域ニーズへの対応について、より具体的な体制整備が望まれる。</li> </ul>
Q事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設園とのインクルーシブの視点や日常を意識した具体的な支援展開が期待できる。</li> <li>・療育の専門性や支援内容の具体化について、さらなる整理が望まれる。</li> </ul>
R事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動療法、感覚統合といった専門性があり、施設も充実している。</li> <li>・児発管の専門性も含め、支援内容や運営体制について、より具体的な整理と実現性の向上が求められる。</li> </ul>
S事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児への対応やインクルーシブの視点など、先進的な取組が見られる。</li> <li>・研修体制や人材育成の仕組みが具体的であり、職員専門性向上が期待できる。</li> <li>・実施場所や送迎ニーズの把握、個別支援計画や支援内容について、具体性が求められる。</li> </ul>
T事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎があり、1歳児から受け入れも想定している。</li> <li>・個別支援計画、移行支援において具体的かつ専門的な充実が期待される。</li> </ul>
U事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ニーズの把握や送迎対応、食事会等、地域に根ざした取組が評価できる。</li> <li>・支援内容や人員体制等全般において、より具体的かつ専門的な充実が期待される。</li> </ul>
V事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員の児童分野での経験不足が否めない。</li> <li>・地域との関係を意識した取組が見られる。</li> <li>・人員体制や専門職配置の明確化により、支援の質の向上が望まれる。</li> </ul>
W事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関との連携や家庭訪問等の家族支援が充実している。</li> <li>・既存の事業所がある地区での提案であった。</li> <li>・支援計画や職員体制の具体性がない。今後実効性の向上が期待される。</li> </ul>
X事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所を基盤とした運営であり、地域ニーズを踏まえた支援の展開が期待できる。</li> <li>・個別支援計画や職員配置について、更なる具体的な整理と専門性の充実が望まれる。</li> <li>・管理者、児発管ともに未就学児の支援経験がない。</li> </ul>
Y事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した送迎あり。保育と療育の緊密な連携ニーズを意識されている。</li> <li>・人員体制や支援内容の具体性について、さらなる明確化が期待される。</li> </ul>
Z事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎がなく、自園の児童の支援が中心となっている。</li> <li>・個別支援計画や人員配置等について、より具体的な計画の整理が期待される。</li> </ul>
AA事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念や運営の方向性は一定程度整理されている。</li> <li>・児発管をはじめとして、支援体制や人材配置の具体化により、実効性の向上が期待される。</li> </ul>
AB事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者視点の支援としての思いがある一方、特定の障がいにて特化している。</li> <li>・個別支援計画について、課題の事例に即していなかった。</li> <li>・計画に未定事項が多く、具体的かつ実践的な整理が求められる。</li> </ul>